

1. ほうりんこころ幼稚園

【広島市安佐南区伴南1丁目5-6】

2. 平成30年度の活動概要

(1) 環境構成に関すること

① ぼうけんの森の広場に井水の水道栓を設けた。

またどろんこ遊びやままごと遊びに没頭できるように、鍋やおたまなどの調理器具も設置した。ぼうけんの森は、広場以外は斜面の山道なので、登り始めると途中で止まることができない。そのせいか、落ち着いてじっくり遊びこむということが難しかったのが、水場の効果で広場の利用度があがり、子どもたちが広場でちょっと休憩をしたり、植物や虫を観察したりするゆとりが生まれるようになっていった。



② 森を保育の中に活用するようになり、たびたび山に登るようになると、ツタやとげのある雑草など、子どもの動線にある危険な植物を除去したり、穴を埋めたり、ハチの巣を駆除するなど、山そのものの手入れの重要性にも気付かされる一年となった。今年度は造園業者に依頼をして、倒れかけた木（マツクイムシの被害を受けた松）を伐採していただくなどの処置を行った。

③ ぼうけんの森以外の園庭でも、子どもたちがなるべく多くの自然と触れ合えるよう、配慮するようになった。以前は、危険物がないことや見通しが良いことなどを一番考えて、こまめに草を刈ったりしていたが、少しぐらいの雑草を残すと、子どもたちが楽しんで虫探しなどに没頭し、戸外で過ごす時間も長くなってきた。



サナギから羽化させたアゲハ蝶

(2) 遊びの事例や、子どもの育ちに関すること

<雨の日の保育>

雨の日は、保育時間の短い幼稚園では着替えのことなども考えるとなかなか外に出にくく、これまでは部屋の中での保育が当たり前と考えていた。自然保育認証のご縁で広島文教女子大学の杉山先生にアドバイスをいただいたことから、保護者に雨具の協力を求め、雨あしの強くない折にはレインコートを着て子どもたちといっしょに外に出てみることにした。すると、雨の音を聞いたり、濡れる感じを味わったり、小さなドリンクヨーグルトの容器に雨粒をあつめるなど、保育に新しい展開が見られるようになった。このことをきっかけに、雨に対して敏感になるだけでなく、風や日光、太陽や星、暑さや寒さなども自然の一部としてとらえるようになったことは大きな収穫だった。建物の中であれ外であれ、田舎であれ都会であれ、私たちが常に自然に取り囲まれており、また私たち自身も自然の一部であると、保育者自身が感じるようになった。そして、保育の中に自然を取り込むとともに、自然の中で保育を展開していこうとする、双方向的な意識変化がみられるようになっていった。



◆雨粒あつめ → R1 やヤクルト等の空カップをもって、レインコートを着て、戸外に出かけます。コートにあたる雨の感触を楽しんだり、雨の音に耳をすましたりしながら、遊具や木の葉から滴る雨をあつめます。集めた雨粒は、濁り具合を見比べたり、その水で絵の具を溶いたりして、大切に使います。屋根や樋から流れ落ちる雨に興味を持って、触ってみようとする姿も見られるようになりました。



◆にじみ絵 → あらかじめ、絵の具やマーカーで画用紙に描いた絵を、雨にさらします。思いもよらない形に曲がったり、にじんだり、色が混ざり合って不思議な色合いになったりします。乾かした画用紙がふやふやと歪むのも楽しんでます。



(3) その他、自然体験活動の実施にあたって工夫したこと

<自然保育研修の開催>

すぐそばにぼうけんの森がある恵まれた自然環境にあり、多くの時間を自然の中で過ごしながらも、これまでなかなか保育の中に自然を取り入れて展開することが難しかった。自然保育認証をきっかけに、カリキュラムの見直しを行うと同時に、保育者自身が学べる研修を企画・開催した。

- 日時● 平成 30 年 12 月 15 日 (土) 10:00~15:00
- 会場● ほうりんこころ幼稚園
- 講師● 高橋京子 先生 (ウレシパモシリ 保育と自然をつなぐ研究会 主宰)
- 講題● 「子どもたちの生き生きと遊びこむ姿を求めて
もちこむ もちだす 環境づくり」

森にご挨拶



◇自然遊び演習 I ◇

- 自然にご挨拶 (ぼうけんの森)
森の音に耳をすませてみよう
- 「みつけたみつけた」葉っぱ遊び
グループに分かれてあつめよう
- しづくあそび
カツラの葉で遊んでみよう

耳をすませてみよう





みつけたみつけた！

8~10人のグループに分かれて、「黒」「赤」「とげとげ」「かさかさ」「ハート」などのキーワードをもとに、葉っぱや木切れ、コケなどを集めます。集めたものを白い画用紙の上に広げて、みんなで観察しました。



葉っぱのタペストリー

森から1枚だけ自分のお気に入りの葉っぱを摘んできて、目玉シールを貼り付けて、長細い障子紙に1列に貼ります。時間が経つと葉っぱが乾いてきて、また違う表情に。自分の葉っぱには愛着がわきます。



しずくあそび

カツラの葉っぱには水をはじく性質があります。これを利用して、スポットで葉に水や色水の水滴を落として遊びます。



◇自然遊び演習Ⅱ◇

○マイツリー作り

グループで創造しよう

○木の実のケーキ

好きなように表現しよう



マイツリー作り

森で拾ってきた30センチから1メートルほどの枝を使って、自分たちのグループだけのツリーを床に表現します。太い幹と、そこから広がる枝、葉っぱや小動物なども作ります。



木の実のケーキ

森に倒れていた倒木を円盤形にスライスしてもらったものに、100円ショップのふわかわる粘土をかぶせ、森の木の実や小枝を刺して、「きのみのケーキ」の絵本そのままのケーキを作ります。

